

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
【郡山女子大学】					
山 形 敏 明	（学術論文） 1. 要介護高齢者の在宅生活継続 要因に関する研究（その2）－い わき市における介護保険住宅改修 及び高齢者等住宅リフォーム事業 の分析を通して－	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	福島県いわき市の高齢者等住宅リフォー ム事業を取り上げ、実態を分析した。そ して、助成額や改修可能な工事箇所の幅 が広い点など、介護保険住宅改修との比 較から、要介護度に応じた住宅改修につ いて検討した。
	（その他） （口頭発表） 1. 福島県における雪害対策に関 する基礎的研究－落雪事故発生時 の気象要因について－	共	2021年9月	雪氷研究大会（2021・ 千葉）講演要旨集	福島県内市町村の人身雪害のうち、落雪 による人身事故発生時の気象要因を調 査・分析した。事故発生に影響する気象 要因を抽出し、今後の雪害対策として、 分析結果を報告した。
	2. 住空間にもたらす映像効果の 心理的作用について	共	2021年9月	日本建築学会大会（東 海）学術講演梗概集	住空間に与える映像を用いた室内空間演 出について、色彩映像の心理的效果と各 種色彩映像による心理的作用の違いを明 らかにした。
熊 田 伸 子	（学術論文） 1. 要介護高齢者の在宅生活継続 要因に関する研究（その2）－い わき市における介護保険住宅改修 及び高齢者等住宅リフォーム事業 の分析を通して－	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	福島県いわき市の高齢者等住宅リフォー ム事業を取り上げ、実態を分析した。そ して、助成額や改修可能な工事箇所の幅 が広い点など、介護保険住宅改修との比 較から、要介護度に応じた住宅改修につ いて検討した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学会発表) 1. 地域包括ケアシステムにおける在宅生活継続要因－介護保険住宅改修の観点から－	単	2021年9月	日本社会福祉学会第69回秋季大会（東北福祉大学）	高齢者の住まいの実態について、各種調査結果を参考に福祉的観点・建築的観点の両面から考察した。そして、福島県郡山市における住宅改修のデータ分析から、介護保険住宅改修の課題について論じた。
	2. 要介護高齢者の在宅生活継続要因に関する研究 －福島県いわき市の住宅改修分析を通して－	単	2021年11月	日本社会福祉学会東北部会第20回研究大会	高齢者の居住環境を整える意義について論じた。そして、福島県いわき市の高齢者住宅リフォーム事業について調査し、効果的な住宅改修につながる要素について考察した。
関 川 悦 雄	(その他) 1. 研究報告書・初任者教員をめぐる研究課題	共	2021年11月	(株)オーディービーセンサー	研究共同代表を担当。 前年の同研究第1号に続いて、若手教員の離職問題について取り上げた。前年の未発表者の離職に関する事例を挙げ、その事例内容の分析・課題などに考察を加え、次の課題を提示した。
山 本 裕 詞	(学術論文) 1. (研究ノート) 大学教育における「養護」の専門性について(1) －「養護」の思想的基盤を考察する準備としてのメイヤロフの「ケア」概念に注目した「養護」実践例の整理－	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58集	著者：藤田京子、山本裕詞 大学教育における「養護」の制度的特徴を確認し、メイヤロフの「ケアの要素」等に沿って事例を整理することで、大学「養護」の実践分析におけるケア論の可能性に迫った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
石 原 正 道	(学術論文) 1. Derivation of the density operator with quantum analysis for the generalized Gibbs ensemble in quantum statistics	単	2021年12月	Physica A 583, 126321	複数の保存量を有する系に最大エントロピー原理を適用し、量子解析を用いて密度演算子を導出した。
安 田 純 子	(著書) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学 教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討 し、作成した。
廣 野 正 子	(学術論文) 1. (研究ノート) 高齢者施設に おける介護職員と利用者の食事介 助時の共食に関する検討：特別養 護老人ホームおよびグループホー ムに勤務する介護職員への面接調 査 (査読付)	共	2021年9月	日本家政学会誌72巻9 号	著者：廣野正子はか3名。 食事介助の際に、介護職員が利用者と「共 食」を実施することで利用者に与える効 果を質的に検討した。筆者は、特別養護 老人ホームおよびグループホームに勤務 する介護職員への面接調査とデータの分 析、文章添削をした。pp.601-608
阿 部 恵利子	(その他) 1. 木の文化を育む ^㉔ 地産地生の住まいを造る	単	2021年4月	林業福島No.680	板倉造りに独自の建築技術を加えた地産 地生の住まいづくりについて解説した。
	2. 木の文化を育む ^㉕ 国産材の新たな需要開発とまちづ くり	単	2021年5月	林業福島No.681	福島県産の林業再生を目的とした国内最 大級の中・大断面集成材の需要開発とま ちづくりについて解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 木の文化を育む ²⁷ 「木育」カフェでリフレッシュ～ grön park café～	単	2021年 6 月	林業福島No.682	「木育」をテーマにした施設と地域との つながりについて解説した。
	4. 木の文化を育む ²⁸ 100年先の景色をつくる～古殿か ら林業の魅力を発信～	単	2021年 7 月	林業福島No.683	古殿町で行われていた馬搬の再現や付加 価値をつけた木製品の開発について紹介 し、古殿の伝統と林業の可能性について 解説した。
	5. 木の文化を育む ²⁹ 自然と文化を育む「めぐる」～季 節に寄り添うモノづくり～	単	2021年 8 月	林業福島No.684	伝統工芸業界に内在する、材料の確保や 漆の育成、商品原価の回収等の課題解決 に繋がる適量生産過程のモデルを紹介し た。
	6. 木の文化を育む ³⁰ 里山を活かしワクワクを生み出す	単	2021年 9 月	林業福島No.685	里山を活かし、地域の伝統文化や自然環 境に対する意識を醸成する森のようちえ んの取り組みについて解説した。
	7. 木の文化を育む ³¹ 野遊びのある暮らし～グロンボロ ンの森～	単	2021年10月	林業福島No.686	人々の流れと賑わいを取り戻すための公 共事業「人の駅構想計画」におけるプレー パーク『グロンボロンの森』について解 説した。
	8. 木の文化を育む ³² エシカル消費で森林を創る～循環 型社会の構築～	単	2021年11月	林業福島No.687	持続可能な森林をつくるための活動とし て、福島県産材を活用したエシカル消費 商品の開発や森の再造林のための取り組 みを解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	9. 木の文化を育む③③ 森とのつき合い方を伝える	単	2021年12月	林業福島No.688	里山を中心とした自然体験活動や環境教育の学修プログラムの開発について解説した。
	10. 木の文化を育む③④ 女子が楽しむ里山の集い	単	2022年 1 月	林業福島No.689	林業への興味関心の裾野を広げ、福島の山を美しく後世に遺す林業女子会@福島の活動について紹介した。
	11. 木の文化を育む③⑤ 「木はり絵」で日本の林業を活性化	単	2022年 2 月	林業福島No.690	日本の林業を活性化し健全な森に戻していくプロダクトデザインと海外販路拡大に向けた取り組みについて解説した。
	12. 木の文化を育む③⑥ 養蜂が織りなすハーモニー ～自然・地域・人をつなぐ～	単	2022年 3 月	林業福島No.691	会津の伝統産業である漆器づくりと養蜂が共同で取り組む里山循環プロジェクトについて紹介した。
瀬 谷 真理子	(その他) 1. 令和3年度福島県公民館職員研修会(初任者研修)「生涯学習の推進と公民館の役割」	単	2021年 5 月 17日	福島県教育委員会主催 オンラインでの開催	「生涯学習の推進と公民館の役割」と題して、公民館職員及び市町村教育委員会社会教育主事等職員対象に、社会教育法の解説と事業の企画立案に向けての講義と解説を行った。 参加者84名 会場：福島県庁
長 田 城 治	(著書) 1. 占領下日本の地方都市－接收された住宅・建築と都市空間	共	2021年 5 月	思文閣	占領下において展開された占領軍の接收活動の実態を地方都市別に解明した。第3章ホテルの接收形態とその動向、第5章山形・地方の小都市にみる接收、第6章日光・観光都市の接收を執筆した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 令和3年2月13日の福島県沖 の地震災害調査速報	共	2021年4月	社団法人日本建築学会 東北支部	日本建築学会東北支部の災害調査連絡会 の主導により、災害委員会と連携した調 査体制を組み、調査対象別に5つのワー キンググループを設けて迅速な現地調査 を実施した。その結果をまとめた速報冊 子に寄稿し、第5章歴史的建造物の被害 を分担執筆した。
	2. 歴史を活かしたまちづくり－ 伝建制度創設半世紀にむけて	共	2021年9月	社団法人日本建築学会	2021年度日本建築学会大会（東海）にお ける建築歴史・意匠部門のパネルディス カッション資料に寄稿し、「山形県の歴 史的な町並の現状と伝建地区選定」と題 した論文を執筆し、山形県内における伝 建地区認定の可能性を報告した。
	(口頭発表) 1. 大正・昭和戦前期の開墾地移 住家屋に関する研究その13－開墾 地移住奨励制度における府県の規 定と運用状況	共	2021年9月	日本建築学会大会学術 講演梗概集,建築歴史・ 意匠,2021	開墾地移住奨励制度の府県ごとの運用状 況を農林省の史料から把握し、制度の課 題を検証した。
	2. 大正・昭和戦前期の開墾地移 住家屋に関する研究その14－今和 次郎・竹内芳太郎設計による茨城 県新興農場の移住家屋の設計案と その位置づけ	共	2021年9月	日本建築学会大会学術 講演梗概集,建築歴史・ 意匠,2021	茨城県新興農場移住家屋の計画・建設経 緯と特徴を再検討し、今和次郎・竹内芳 太郎の設計思想と農村住宅の取り組みと しての位置づけを明らかにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 常磐南部炭田中郷地区における生活関連施設の種類の配置傾向	共	2021年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集,建築歴史・意匠,2021	常磐南部炭田中郷地区における生活関連施設の種類の配置傾向を検討し、企業別の特徴を明らかにした。
	4. 占領下日本の都市・住宅に関する研究その17－静岡県におけるホテル接収と休暇将兵の実態	共	2021年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集,建築歴史・意匠,2021	占領軍の保養地として賑わった熱海のある静岡県を対象に、史料や現地調査から接収ホテルの特徴を考察し、占領軍刊行のホテル案内冊子等から休暇将兵の実態を検討した。
	(報告書) 1. 松田家住宅主屋・土蔵・門塀の国登録有形文化財申請に向けた調査報告書	単	2022年 2 月	国見町	国見町貝田に所在する松田家住宅の主屋・土蔵・門塀を国登録有形文化財に具申するために建物実測調査し、建築的価値を精査した。
	(デザイン制作) 1. 三春建物探検2021イベントフライヤー製作	単	2021年10月	三春町	三春町教育委員会と郡山女子大学生活科学科建築デザイン専攻が主催したイベント広報用フライヤーのデザイン制作を行い、町内に全戸配布した。
	2. 旧吉田家住宅・紫雲閣の観光案内リーフレット製作	単	2022年 3 月	三春町	国登録有形文化財の旧吉田家住宅・紫雲閣の観光案内用のリーフレットを制作した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
近 内 直 美	(学術論文) 1. 成年後見制度利用促進における体制整備の取り組み －福島県における事例報告－	単	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行され、成年後見制度活用のための体制整備が市町村に求められている。そこで、成年後見制度利用の現状、福島県内の体制整備の現状を報告し、成年後見制度活用の推進について検討した。
藤 田 京 子	(学術論文) 1. (研究ノート) 大学教育における「養護」の専門性について(1) －「養護」の思想的基盤を考察する準備としてのメイヤロフの「ケア」概念に注目した「養護」実践例の整理－	共	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	著者：藤田京子、山本裕詞 大学教育における「養護」の制度的特徴を確認し、メイヤロフの「ケアの要素」等に沿って事例を整理することで、大学「養護」の実践分析におけるケア論の可能性に迫った。
高 橋 真 里	(学術論文) 1. 要介護高齢者の在宅生活継続要因に関する研究(その2)－いわき市における介護保険住宅改修及び高齢者等住宅リフォーム事業の分析を通して－	共	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	福島県いわき市の高齢者等住宅リフォーム事業を取り上げ、実態を分析した。そして、助成額や改修可能な工事箇所の幅が広い点など、介護保険住宅改修との比較から、要介護度に応じた住宅改修について検討した。
	(口頭発表) 1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究－落雪事故発生時の気象要因について－	共	2021年 9 月	雪氷研究大会(2021・千葉) 講演要旨集	福島県内市町村の人身雪害のうち、落雪による人身事故発生時の気象要因を調査・分析した。事故発生に影響する気象要因を抽出し、今後の雪害対策として、分析結果を報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
大 泉 由 美	(著書) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学 教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討 し、作成した。
	(学術論文) 1. 本学の家政哲学による社会家 政学領域に関する研究 －郡山市の公営住宅の分析－	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	家の人間守護機能の低下への家政学的対 応として、地域社会に焦点を当てその意 義と課題を明らかにした。
鋤 野 信 子	(その他) 1. お酒の楽しみ方 「近代日本 における酒類の歴史」編 ①明治 維新	単	2021年4月	酒販の友 No.727 p.12-13	近代日本における酒類の、明治維新直後 のビールやワインなどの洋酒について解 説した。
	2. お酒の楽しみ方 「近代日本 における酒類の歴史」編 ②国産 ビール醸造の先駆者	単	2021年5月	酒販の友 No.728 p.10-11	醸造学を学び、東日本で初めて国産ビー ル醸造に着手した野口正章について解説 した。
	3. お酒の楽しみ方 「近代日本 における酒類の歴史」編 ③続く 国産ビールの流れ	単	2021年6月	酒販の友 No.729 p.12-13	ジャパン・ブリュワリー・カンパニー・ リミテッド(キリンビール)、大阪麦酒 (アサヒビール)、開拓使麦酒醸造所(サッ ポロビール) について解説した。
	4. お酒の楽しみ方 「近代日本 における酒類の歴史」編 ④明治 初期の葡萄酒醸造の動き	単	2021年7月	酒販の友 No.730 p.8-9	明治初期に始まった国産ワインの醸造と して、山梨県で進む葡萄酒醸造について 解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. お酒の楽しみ方「近代日本における酒類の歴史」編 ⑤明治初期の葡萄酒醸造の動き(2)	単	2021年 8 月	酒販の友 No731 p.8-9	フランスに留学してワイン醸造を学んだ土屋龍憲と高野正誠、ワインの品質の改良に努めた宮崎光太郎について解説した。
	6. お酒の楽しみ方 「近代日本における酒類の歴史」編 ⑥西日本の国産ワイン	単	2021年 9 月	酒販の友 No732 p.10-11	東京オリンピックの年に醸造された「古葡萄酒1964」と東京2020の年に復刻した「初代オリンピック復刻ラベル」について解説した。
	7. お酒の楽しみ方 「近代日本における酒類の歴史」編 ⑦相次ぐビール醸造への参入	単	2021年10月	酒販の友 No733 p.12-13	コーブランドの分譲酵母で醸造した「桜田ビール」、コーブランドの醸造機械で創業した「浅田ビール」、アメリカの撤去設備を輸入して醸造した「カスケードビール」を解説した。
	8. お酒の楽しみ方 「近代日本における酒類の歴史」編 ⑧コーブランドのビール醸造技術の継承	単	2021年11月	酒販の友 No734 p.12-13	コーブランドの醸造技術を継承した助手の久保初太郎、村田吉五郎、横山助次郎が手掛けたビールについて解説した。
	9. お酒の楽しみ方 「近代日本における酒類の歴史」編 ⑨「ミツカン」も手掛けたビール醸造	単	2021年12月	酒販の友 No735 p.10-11	中埜酢店（ミツカン）4代目、中埜又左衛門らが手掛けた「カプトビール」について解説した。
	10. お酒の楽しみ方 「近代日本における酒類の歴史」編 ⑩明治20年頃の国内ビール事情	単	2022年 1 月	酒販の友 No736 p.12-13	明治半ば頃から、国産ビールは醸造技術の向上、販売方法の工夫などにより進化を見せていたことについて解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	11. お酒の楽しみ方 「近代日本 における酒類の歴史」編 ⑪ビール 文化の浸透進む	単	2022年2月	酒販の友 No.737 p.10-11	箱根の関以東を日本麦酒会社（恵比寿 ビール）の販路に、以西を大阪麦酒会社 （アサヒビール）の販路とする協定を結 んだことを解説した。
菊 池 節 子	（その他） 「報告書」 1. 郡山市震災後子どものケアプ ロジェクト 郡山市子どもの心と 体の育ち見守り事業 運動や食事 についてのアンケート調査報告書 (2021年)	共	2022年2月	認 定NPO法 人 郡 山 ベップ子育てネット ワーク	菊池節子ほか5名による共同研究。本報 告書は2021年度実施の郡山市の子ども たちの生活習慣等に関するアンケート 調査結果をまとめたものである。筆者 は食習慣、食事の様子、経年変化pp.5、 8-16、58-82、122-142を担当した。
	2. 古殿町特産物“ミニトマト” の6次化実施報告書	単	2022年3月	古殿町	古殿町の特産物である“ミニトマト”を 用いて行った6次化商品開発に関する結 果を報告書として提出した。
坂 上 茂	（口頭発表） 1. 短期大学栄養士養成課程にお ける農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 （於：郡山市）	栄養士養成教育の一環として行う農業体 験学習の充実を図るため、学生と教員対 象に行ったアンケートを基に評価・検証 を行った。
	（その他） 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 （新地町文化交流セン ター）	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
岡 部 聡 子	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な 「鉄摂取尺度」の改訂および再現 性の検討	共	2021年 5 月	日本家政学会誌	鉄摂取に関する栄養教育に活用できる ツール開発を目指すべく、自己記入式の 簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテラ シー（健康情報を入手・理解・活用する 力、WHO定義）の視点から改訂した。
	(口頭発表) 1. 二次元イメージマッピング法 による子どもの食意識と食環境の 調査について	共	2021年 9 月 11日	一般社団法人 日本家 政学会 東北・北海道 支部 第64回研究発表 会	マッピング法を用いて、子どもたちの食 に関する意識と食環境を把握し、今後の 食育活動について検討した。
亀 田 明 美	(著書) 1. わかりやすい給食・栄養管理 の手引き	共	2021年12月	新日本法規出版	追録第35号において「学校給食摂取基準 とは」を担当した。
	(学術論文) 1. 栄養教諭養成における教育実 習と教職実践演習の実態と課題 ー栄養教諭養成校対象のアンケー ト調査をもとにー	共	2021年 6 月	日本大学文理学部教職 センター 教師教育と 実践（第6巻）	チーム学校の一員としての資質・能力を 備えた栄養教諭の養成に向けた養成課程 の改善に資する知見を得るために栄養教 諭養成課程における教職実践演習に着目 し、実態を明らかにした。
影 山 志 保	(著書) 1. 食物と栄養学基礎シリーズ「最 新食品衛生学」	共	2021年 9 月 30日	学文社、p.13-27	栄養士・管理栄養士のための食品衛生学 の教科書として「第3章食品衛生と微生物」 を担当し執筆した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(口頭発表) 1. 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向	共	2021年8月 23日～29日	日本菌学会第65回大会 講演要旨集 オンライン開催(慶応義塾大学) p.34	空間放射線量率の高い地域である相馬、飯館地区では、サクラシメジ、コウタケなどはいまだ生重量で10,000Bq/kg以上の放射性セシウム濃度を示すものが見られた。中間的地域である郡山市でも、いまだ生重量で1,000Bq/kgを超えていたきのこがみられた。
	(ポスター発表) 1. 猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の水質と生物調査	共	2021年11月 26日	水環境保全フォーラム (猪苗代町体験交流館 学びいな)	裏磐梯と猪苗代湖沼地域の水質調査と特定外来生物ウチダザリガニの分布について調査した。現時点で裏磐梯ではウチダザリガニが確認されていたが、猪苗代では確認されていなかった。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』事業 プラットフォーム会議・活動報告会 (新地町文化交流センター)	葛尾村における本学の活動内容について、フリーポスターセッションにて報告を行った。また、事業紹介動画撮影をし、その様子は生配信され、録画映像は一定期間YouTube配信された。
黒 澤 廣 子	(その他) 1. 研究会発表	共	2021年12月 18日	第33回福島県栄養士会 栄養研究発表会	「福島県内の病院における糖尿病患者の食事療法及び栄養食事指導手法について」
	2. 学会発表 (WEB発表)	共	2022年1月 28日	第24・25回日本病態栄養学会	「クリニックにおける血液透析患者の食事療法の現状とストレス」

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
郡 司 尚 子	(著書) 1. 食べ物と健康【総論】	共	2022年3月	八千代出版	食品学総論分野の『食品表示』(p.89～100)、『食品成分表』(p.117～125)、その分野に関連する問題と解説部分(p.129、130～131)の執筆をした。 編著者：高岡素子、著者：郡司尚子ほか5名。
	2. 食べ物と健康【各論】	共	2022年3月	八千代出版	食品学各論分野の『穀類』(p.13～23)、『卵類』(p.96～103)、その分野に関連する問題と解説部分(p.143、147、149、152～153)の執筆をした。 編著者：下橋淳子、著者：郡司尚子ほか7名。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』事業 プラットフォーム会議・活動報告会 (新地町文化交流センター)	葛尾村における本学の活動内容について、フリーポスターセッションにて報告を行った。また、事業紹介動画撮影をし、その様子は生配信され、録画映像は一定期間YouTubeにて配信された。
長谷川 貴 弘	(著書) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学 教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の次年度から3年分の新しい教材を検討し、作成した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
諏 訪 雅 貴	(学術論文) 1. Relationships between depression, daily physical activity, physical fitness, and daytime sleepiness among Japanese university students. (査読付)	共	2021年 7 月	International Journal of Environmental Research and Public Health, 18(15):8036.	大学生においてスポーツ活動やアルバイトにより身体活動量が多いことは、メンタルヘルスの悪化と関連した。
	2. Comparison of metabolic risk factors, physical performances, and prevalence of low back pain among categories determined by visceral adipose tissue and trunk skeletal muscle mass in middle-aged men. (査読付)	共	2021年11月	Experimental Gerontology, 155:111554.	日本人男性において、内臓脂肪が少なく骨格筋量が多い群では、血液生化学的指標や体力が優れていた。
	(口頭発表) 1. Prevalence of excessive daytime sleepiness and its association with daily life factors in Japanese first-year university students.	共	2021年 9 月	The 26th Annual Congress of the European College of Sport Science. Online	新型コロナウイルスによる活動制限が、大学生 1 年生の睡眠パターンとメンタルヘルスの良好さと関連した。
	2. 中年男性における運動実施頻度の違いが体幹部骨格筋脂肪と身体組成および内臓・皮下脂肪との関係に及ぼす影響.	共	2021年 9 月	第76回日本体力医学会大会, オンライン	中年男性において、骨格筋量や腹囲は、運動習慣とは無関係に腹部筋内脂肪面積の予測因子であった。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 内臓脂肪と体幹部骨格筋の分布と代謝疾患リスクや身体機能との関連.	共	2021年 9 月	第76回日本体力医学会大会, オンライン	日本人男性では、腹部内臓脂肪面積と腹部骨格筋面積のいずれも、代謝疾患関連指標や体力と関連した。
伊 藤 央 奈	(口頭発表) 1. 高校生アスリートの食事の好き嫌いと食行動の関連	単	2022年 3 月	第92回日本衛生学会学術総会 (オンライン開催)	高校生アスリートの食事の好き嫌いに関連する食行動を明らかにすることを目的とした。好き嫌いがない人は有意に寮の食事を残さず食べていた事が明らかとなった。
星 千 歳	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な「鉄摂取尺度」の改訂および再現性の検討	共	2021年 5 月	日本家政学会誌	鉄摂取に関する栄養教育に活用できるツール開発を目指すべく、自己記入式の簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテラシーの視点から改訂した。
	(その他) 1. 研究会発表 「社員食堂利用者の生活習慣と疾病との関係」	共	2021年12月 18日	2021年度 第33回福島県栄養士会研究発表会	社員食堂利用者にアンケートを行い、生活習慣と疾病との関係について検討し、BMI・味付け・体重増加の項目について関係性があることを報告した。
善 方 美千子	(口頭発表) 1. 二次元イメージマッピング法による子どもの食意識と食環境の調査について	共	2021年 9 月 11日	一般社団法人 日本家政学会 東北・北海道支部 第64回研究発表会	マッピング法を用いて、子どもたちの食に関する意識と食環境を把握し、今後の食育活動について検討した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。
柳 沼 和 子	(著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「いも・ 豆・海藻のおかず」	共	2021年 6 月 1 日	(一社) 日本調理科学 会発行 (一社) 農村漁村文化 協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施 した聞き書き調査をもとに、次世代に伝 え継ぎたい家庭料理として時代背景を交 えたレシピ集として紹介する。担当p.8 味噌かんぶら、p.57まんじゅうの天ぶら、 p.61花豆の甘煮
	2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「四季の 行事食」	共	2021年 9 月 1 日	(一社) 日本調理科学 会発行 (一社) 農村漁村文化 協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施 した聞き書き調査をもとに、次世代に伝 え継ぎたい家庭料理として時代背景を交 えたレシピ集として紹介する。担当p.14 つむじかり、p.43棒たら煮
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
橋 本 杏 菜	(学術論文) 1. 若年女性を対象とした簡便な 「鉄摂取尺度」の改訂および再現 性の検討	共	2021年5月	日本家政学会誌	鉄摂取に関する栄養教育に活用できる ツール開発を目指すべく、自己記入式の 簡易版鉄量把握評価票をヘルスリテラ シー（健康情報を入手・理解・活用する 力、WHO定義）の視点から改訂した。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。
	2. 研究会発表	共	2021年12月 18日	第33回福島県栄養士会 栄養研究発表会	「福島県内の病院における糖尿病患者の 食事療法及び栄養食事指導手法につい て」
根 本 絢 香	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
吉 田 朱 里	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。
【郡山女子短期大学部】					
齋 藤 美保子	(学術論文) 1. 郡山女子大学内ブロンズ像の 彫刻史的位置	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	著者：齋藤美保子、黒沼令 主に2章3章を執筆した。郡山女子大内 のブロンズ像は、1980年代、90年代の日 本彫刻受容史と期を一にしつつ、創立者 の各年代の人間に対する思いが造形化さ れた濃密なコレクションであるという結 論に至った。
	(その他) 1. ひとつこと	単	2021年9月	第213回芸術鑑賞講座 配布冊子	「時空をつなぐ布の力」展を学生が鑑賞、 理解しやすくなるように、佐治ゆかり氏 とそのコレクションについて紹介した。
	2. ひとつこと	単	2021年	第214回芸術鑑賞講座 配布冊子	「尾形光琳展」を学生が鑑賞、理解しや すくなるように、琳派の形成と江戸琳派 の関係、尾形光琳の画題の特徴等を解説 した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
會 田 久仁子	(著書) 1.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「いも・豆・海藻のおかず」	共	2021年6月 1日	(一社)日本調理科学 会発行 (一社)農村漁村文化 協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。担当p.8 味噌かんぶら、p.57まんじゅうの天ぶら、p.61花豆の甘煮
	2.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「四季の行事食」	共	2021年9月 1日	(一社)日本調理科学 会発行 (一社)農村漁村文化 協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。担当p.14 つむじかり、p.43棒たら煮
	(口頭発表) 1. 短期大学栄養士養成課程における農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	栄養士養成教育の一環として行う農業体験学習の充実を図るため、学生と教員対象に行ったアンケートを基に評価・検証を行った。
水 野 時 子	(口頭発表) 1. 短期大学栄養士養成課程における農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	栄養士養成教育の一環として行う農業体験学習の充実を図るため、学生と教員対象に行ったアンケートを基に評価・検証を行った。
源 川 博 久	(学術論文) 1. アミロイドβペプチド40の細胞毒性に対するテアニンの細胞保護作用	単	2022年	郡山女子大学紀要第58 集	テアニンは、アルツハイマー病の原因の1つと考えられるアミロイドβペプチド40の細胞毒性から細胞死を抑制した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
小 林 澄 枝	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。
	2. 短期大学栄養士養成課程にお ける農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	健康栄養学科では、教育に一環として屋 上菜園を利用して農業体験を実施してい る。種まきから収穫までの作業を通して、 学生が何を学んだかをアンケート調査結 果から分析した。
金 子 依里香	(口頭発表) 1. 短期大学栄養士養成課程にお ける農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	栄養士養成教育の一環として行う農業体 験学習の充実を図るため、学生と教員対 象に行ったアンケートを基に評価・検証 を行った。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションの他、事 業紹介動画を生配信ならびに録画撮影 し、YouTubeで配信された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
澤 渡 優 喜	(学術論文) 1. 小売店で購入可能な食品及び 食品添加物を使用した乳酸菌の培 養培地の開発②	単	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	野菜発酵用の乳酸菌スターター調製用培 地の組成を再検討し、5℃保存下のス ターターの保存性を改善した。
	(その他) 1. 短期大学栄養士養成課程にお ける農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	栄養士養成教育の一環として行う農業体 験学習の充実を図るため、学生と教員対 象に行ったアンケートを基に評価・検証 を行った。
加 藤 雅 子	(著書) 1. 『別冊うかたま』伝え継ぐ日 本の家庭料理「いも・豆・海藻の おかず」	共	2021年6月	(一社)日本調理科学 会発行 (一社)農村 漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施 した聞き書き調査をもとに、次世代に伝 え継ぎたい家庭料理として時代背景を交 えたレシピ集として紹介する。
	2. 『別冊うかたま』伝え継ぐ日 本の家庭料理「四季の行事食」	共	2021年9月	(一社)日本調理科学 会発行 (一社)農村 漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施 した聞き書き調査をもとに、次世代に伝 え継ぎたい家庭料理として時代背景を交 えたレシピ集として紹介する。
	(口頭発表) 1. 短期大学栄養士養成課程にお ける農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	栄養士養成教育の一環として行う農業体 験学習の充実を図るため、学生と教員対 象に行ったアンケートを基に評価・検証 を行った。
関 葵	(口頭発表) 1. 短期大学栄養士養成課程にお ける農業体験学習とその評価	共	2021年12月	2021年度第33回福島県 栄養士会研究発表会 (於：郡山市)	栄養士養成教育の一環として行う農業体 験学習の充実を図るため、学生と教員対 象に行ったアンケートを基に評価・検証 を行った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共	2021年11月 27日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和3年度『復興知』 事業 プラットフォー ム会議・活動報告会 (新地町文化交流セン ター)	葛尾村における本学の活動内容につい て、フリーポスターセッションにて報告 を行った。また、事業紹介動画撮影をし、 その様子は生配信され、録画映像は一定 期間YouTube配信された。
磯 部 哲 夫	(学術論文) 1. 保育者養成における感性や表 現する力の育成 ～ミュージカル制作を通して～	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	卒業研究「ミュージカル」を題材として、 幼稚園教育要領「表現」の領域との関連 について考察を行った。
一 柳 智 子	1. 研究報告 「日山信仰に関わる三匹獅子舞の 災害後の伝承状況」	単	2021年11月 27日	民族藝術学会第162回 研究例会	日山信仰に関わる三匹獅子舞の奉納は、 葛尾・田沢・茂原の3地域によって行わ れてきたが、東日本大震災後、複合的災 害下にある。その伝承状況について考察 した。60分
小 林 徹	(著書) 1. 認知機能・知的機能の困難へ の対応	共	2021年10月 20日	建帛社B5型197頁 (分担) pp124-130	編著：笠井新一郎・坂井聡・荻田知則、 著者：小林徹ほか19名。 特別支援学校教諭免許課程で学ぶ学生を 対象とした知的障害領域のテキスト。第 3章第3節「特別支援学級の学級経営と 教育課程・指導法」を担当した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
横 溝 聡 子	(学術論文) 1. 保育者養成における感性や表現する力の育成 ～ミュージカル制作を通して～	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58集	卒業研究「ミュージカル」を題材として、幼稚園教育要領「表現」の領域との関連について考察を行った。
早 川 仁	(その他) 1. 現代童画展 受賞作家展	単	2021年4月	銀座アートホール	作品題名「コロナの森を抜けて」 サイズ F-20号 素材 カンバス・油彩
	2. 福島県総合 美術展	単	2021年6月	福島県県文化センター	作品題名「お昼休み」 サイズ F-50号 素材 カンバス・油彩
	3. 個展	単	2021年6月	マスガ画廊	油彩画 サイズSM号～F50号 素材カンバス・油彩 28点出品
	4. 郡山開成学 園美術展	単	2021年8月	郡山うすい百貨店	作品題名「お昼休み」 サイズ F-50号 素材 カンバス・油彩
	5. 県南美術会員・会友展	単	2021年11月	郡山ビッグアイ	・作品題名「音楽Ⅰ」 サイズ 40cm×40cm 素材パネル・アクリル・水彩

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	6. 現代童画展	単	2021年11月	東京都美術館	・作品題名「きんぎょばちいっぱいひみつ」 サイズ F-130号 素材 カンバス・油彩 備考 *会員作家賞受賞
草 野 葉 子	(その他)〈作品発表〉 1. 第71回モダンアート展	単	2021年 4 月	東京都美術館	作品:「to・mo・ni-21-いだかれて-」 自然界と人物をモチーフとした構成Ⅰ。
	2. 第3回郡山開成学園美術展	単	2021年 8 月	うすい百貨店ギャラリー	作品:「toki・とき」 樹木と空による構成Ⅰ 「バベルの樹・Ⅰ」 樹木と建築物による構成Ⅰ-①
	3. 第35回モダンアート福島支部展	単	2021年 8 月	郡山市民ふれあいプラザ	作品:「SAKURA-Ⅲ-2021」 植物画像による構成Ⅳ-③。
折 笠 国 康	(学術論文) 1. 保育職志望学生の本来感と両親の養育態度の関連	単	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	本来感と保育職志望学生の認知する両親の養育態度との関連を統計学的に検討した。両親の統制的な養育態度は保育職志望学生の持ち合わせる統制的な養育態度に正の影響を与え、本来感に対して負の影響を与えることが確認された。本来感と現在の応答性には両親からの養育態度の弱い影響が確認された。また、統制的な養育態度は、両親からの統制的な養育態度からの影響が強いことが確認された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
永 瀬 悦 子	(著書) 1.『新・保育内容 健康：生き 生きとした子どもの発育発達を求 めて』	共	2022年1月	教育情報出版	保育者養成のテキストである。 筆者は「第4章 子どもの心と身体の健 康」を執筆した。
	(学術論文) 1. 児童を対象とした「命のつな がり」の健康教育前後の学びの変 化と体験学習の教育効果の検討： 性差・学習前後・学びの様相に着 目して (査読付)	単	2021年9月	日本幼少児健康教育学 会誌『日本幼少児健康 教育学会誌』第7巻第 21号，29－37頁	コロナ禍における児童生徒の自殺者数が 増加したという社会背景を受け、命を大 切にする健康教育について言及した研究 である。児童を対象に「命のつながり」 の健康教育の効果と健康教育の体験学習 (見る・聞く・触る)の学びの様相を明 らかにした。児童が考える「命を大切に すること」の具体的内容も明らかにした。
柴 田 卓	(学術論文) 1.「フィンランド・デンマーク の自然を活かした保育に関する研 究－保育実践とナショナルカリ キュラムからの考察－」	共	2022年3月	日本自然保育学会，自 然保育学研究，第4巻	フィンランドとデンマークにおける自然 を活かした保育活動に対し、実践内容と ナショナルカリキュラムとの関連につい て考察を行った。 柴田卓，柴田千賀子
	(学会発表) 1. フィンランドの自然を活かし た保育に関する研究	共	2021年5月	日本保育学会第74回大 会，発表論文集	フィンランドのナショナルカリキュラム における自然保育の取り扱いについて、 事例を基に検証した。 柴田卓，柴田千賀子
	2. デンマークの自然を活かした 保育に関する研究－保育実践とナ ショナルカリキュラムからの考察 －	共	2022年2月	日本自然保育学会第6 回大会，発表要旨集	デンマークのナショナルカリキュラムに おける自然保育の取り扱いについて、事 例をもとに検証した。 柴田卓，柴田千賀子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 子ども里山・自然保育活動推進の取り組み－ふくしま子ども里山教育・自然保育認証制度に向けて－	共	2022年 2 月	日本自然保育学会第 6 回大会，発表要旨集	福島県の里山教育・自然保育認定制度創設に向けた取り組みや検討事項に関する報告を行った。 八木孝憲，柴田卓，庄子佳吾
安 部 高太朗	(学術論文) 1. 鯨岡峻による「接面」の人間学における間主観的な理解の非対称性	共	2021年 6 月	『敬心・研究ジャーナル』第 5 巻第 1 号、21-31頁。	鯨岡峻による接面の人間学を対象に、彼が言う「理解」が非対称的であることを示した。
	2. 日本の保育学における「省察的実践家」論の諸解釈：ドナルド・ショーン理解の混乱	共	2021年12月	『敬心・研究ジャーナル』第 5 巻第 2 号 11-20頁。	現代日本の省察的実践家論について、1990年代以降の言説を整理した。
深 谷 悠里絵	(学術論文) 1. 「保育表現技術 器楽Ⅱ」実習での音楽活動から考えるピアノ演奏技術のあり方 ～聞き取り調査を踏まえて～	単	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	授業で取り扱った曲や演奏技術について、実習から見えた音楽活動と今後の課題の調査を行い、分析・検証した。
	2. 保育者養成における感性や表現する力の育成 ～ミュージカル制作を通して～	共	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	卒業研究「ミュージカル」を題材として、幼稚園教育要領「表現」の領域との関連について考察を行った。
	(その他) 演奏 1. 福島県合唱連盟コンクール 中学校の部	共	2021年 8 月 29日	いわき芸術文化交流館 アリオス／福島県	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピアノ伴奏 自由曲「不眠」「憧れ」 東北大会出場

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 全日本合唱コンクール東北支部大会	共	2021年 9 月 25日	やまぎん県民ホール／ 山形県	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピアノ 伴奏 自由曲「不眠」「憧れ」 金賞受賞
柳 沼 真美子	(著書) 1. 『キャリアデザイン』（第4期 テキスト）	共	2022年 3 月	郡山女子大学 教養・キャリア教育委 員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討 し、作成した。
何 燕 生 (福島寅太郎)	(著書) 1. 『近代東アジアと日本文化』	共	2021年 7 月	銀河書籍	論文「越境する中国仏教—中国語圏にお ける「人間仏教」の思想と実践」を執筆。
	2. 『此岸彼岸—星雲大師全集読 後』	共	2021年11月	新星出版社（北京）	論文「一部仏光百喩經」を執筆。
	3. 『禅的形成及其在世界的展開』	共	2021年11月	宗教文化出版社（北京）	2018年5月に開催された武漢大学国際禅 文化研究センター成立記念国際シンポジ ウムの論文集。国内外の発表者から36本 の論文が寄せられ、禅の形成とその世界 における展開が論じられている。
	(学術論文) 1. 当禅仏教遭到哲学者—田辺元 『正法眼蔵の哲学私観』	単	2021年 5 月	『漢語仏学評論』2021 年 第 7 期、168頁-179 頁、中山大学哲学系仏 学研究センター、上海 古籍出版社	京都学派の哲学者である田辺元の『正法 眼蔵の哲学私観』を中心に、田辺哲学に おける道元禅の受容とその特徴を論じ た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 道元与南宋臨済宗一围绕三教 一致说为问题的考察	単	2021年11月	『第二届国际黄檗禅论 壇学術論文集』、福建 省黄檗文化研究院、 300-318頁。	本人が研究代表をつとめる科研基盤研究 C（課題番号17K02242）による成果の一 つ。『正法眼蔵』に見える南宋禅の批判 を中心に、道元における南宋臨済禅の位 置づけ、とくにその批判的言説について 検討した。
	3. 現代中日における禅宗史研究 の交流の一断面－印順の『中国禅 宗史』の出版とその反響を中心に －	単	2022年2月	『国際禅研究』第8号、 国際禅研究プロジェ クト（東洋大学）201- 228頁。	本人が分担者をつとめる科研基盤A（課 題番号17H00904）による成果の一部で ある。大正大学に学位請求論文として提 出され、のちに台湾で出版された印順の 『中国禅宗史』の出版をめぐり、中国語 圏での反響を中心に論じた。
	4. Discovering an Academic: The Influence of Master Yinshun's Chan Research on Japanese Scholarship	単	2022年2月	Journal of Buddhist Philosophy 4, pp.139- 164.SUNY Press. (https://www. sunypress.edu/p-6159- journal-of-buddhist- philosophy-annual. aspx)	印順の『中国禅宗史』の刊行（1971）か ら2021年でちょうど40年になる。この本 の学術的な意味について、これまで検討 してきた成果を英語で発表した。科研基 盤研究Aによる成果の一つである。
	5. Modern Narratives of Linji and the <i>Linji lu</i> : A Methodological Investigation	単	2022年3月	『国際禅研究』第9号、 国際禅研究プロジェ クト（東洋大学）、1-33 頁	以前、同じタイトルで発表した論文の英 訳。胡適、柳田聖山における臨済および 『臨済録』研究について、とくにその方 法論的特徴を検討した。本人が代表を務 める科研基盤研究の成果の一部である。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 学会発表 1. 仏教在亞洲傳播的歷史經驗与 未来展望	単	2021年 4 月 8 日	百年未有之大變局与伝 統文明的轉換和發展高 峰論壇、武漢大学哲学 院主催、2021年 4 月 8 日Tencent meeting/国 際版VooV Meeting (オ ンライン) にて開催。	アジアにおける仏教の伝播とその歴史的 多様性について検討した。科研基盤Cに よる成果の一部である。
	2. 經典与体験之間—以『壇經』 在当代日本的流传為中心	単	2021年 6 月 19日	第7届東亜仏教文献与 文学裏的仏教世界以及 東南亞仏教与宗教国际 学 会、2021年 6 月19 日、韓国東国大学主催、 Zoomオンラインにて 開催	1980年代広州駐在のある日本人商社マン の六祖慧能やその『壇經』との出会いを 手がかりに、いわゆる「經典的信仰」と 「經驗的信仰」の問題について検討した。
	3. 仏教是一個想像的共同体嗎	単	2021年 8 月 8 日	諸子学暨蕭蓬父先生学 術思想研討会、2021年 8 月 8 日、暨南大学 哲学研究所ほか主催、 Tencent meeting/国 際版VooV Meeting (オ ンライン) にて開催	恩師・蕭蓬父先生の学術史の検討の一環 として、太虚を中心とする近代中日仏教 における交流について考察し、その問題 点を指摘した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 三者鼎談『正法眼蔵』の表現・ 翻訳・思想をめぐって	単	2021年 9 月 25日	科研基盤A報告会「三 者鼎談『正法眼蔵』の 表現・翻訳・思想を めぐって」2021年 9 月18日、オンライン (Webex)	本人が中国語訳した『正法眼蔵』をめぐり、ジャン＝ノエル・ロベール氏（コレ ジュ・ド・フランス）、角田泰隆氏（駒 澤大学）と鼎談の形で議論した。
	5. 東西文明対話中「大乘仏教」 概念的形成－以雅斯貝貝爾斯和木 村泰賢の論述為中心的考察	単	2021年 9 月 18日	中国社会科学論壇 (2021・宗教学)「伝承 与發展:世界文明交流 与互鑑」2021年 9 月25 日、中国社会科学院世 界宗教研究所主催。	以前発表した同名の論文の内容を踏まえ たもの。ヤスパースと木村泰賢における 「大乘仏教」の理解についてその異同と 背景を検討した。 Tencent meeting/国際版VooV Meeting (オンライン) にて開催。
	6. 「禪と武士道」という言説の 生成とその背景	単	2022年 2 月 12日	研究発表例会（科研基 盤研究 A：国際禪研 究プロジェクト・東洋 大学東洋学研究所プロ ジェクト共催）	「禪と武士道」という捉え方をめぐり、「武 士道」の生みの親とも言える新渡戸稲造 や井上哲次郎、鈴木大拙などの言説を検 討し、その虚像と実像に迫った。本人が 代表を務める科研基盤Cによる成果の一 部である。
	招待講演 1. 仏教文化対世界和平与人類命 運共同体建設的積極意義	単	2021年12月 8日	「他者眼中的中国形象 期待」系列訪談式講座 之三（武汉大学文明対 話高等研究院、2021年 12月 8 日ZOOMでの開 催。	アリゾナ大学の呉疆教授と対談という形 で、歴史上における仏教の展開の特徴と その思想の現代的意義について講演し た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
浅 野 章 (その他)	1. 国画13の視線展	単	2021年 5 月	ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した作品「輝きびと」を含め、2点を発表。
	2. 第95回国展	単	2021年 5 月	国展名古屋展 愛知県立美術館	同上テーマの大型作品「岩山の母子像」(227×182cm)を発表。
	3. 第75回福島県総合美術展	単	2021年 6 月	福島県文化センター 福島市	同上テーマの作品「紅い花」を発表。
	4. 第2回ろう城アート展	単	2021年 6 月	ろう城アート展事務局 会津若松市	同上テーマの作品「輝くひと」をWeb上にて発表。
	5. 第3回郡山開成学園美術展	単	2021年 8 月	うすい百貨店ギャラリー 郡山市	同上テーマの作品「赤い夢」を含め、2点を発表。
	6. 浅野アキラ絵画展	単	2021年12月	ギャラリー惣 東京都中央区銀座	同上テーマの作品「伎芸天」を含め、20点を発表。
齊 藤 弘 久 (その他)	1. 第93回新構造展	単	2021年 6 月	東京都美術館	「Sura - Mera」ジクレー
	2. 第59回新構造社埼玉支部展	単	2021年 8 月	埼玉県立近代美術館	「Ki - Kon」ジクレー
	3. 第3回郡山開成学園美術展	単	2021年 8 月	うすい百貨店	「Sura - Mera」ジクレー

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 第59回大洋美術協会展	単	2021年10月	東京銀座 交通会館 「San - Gai」ジクレー ギャラリー	
	5. 第65回福島水彩展	単	2022年1月	けんしん郡山文化セン ター	「Tyan - Daka II」ジクレー ター
	6. 第10回新構造東京展	単	2022年2月	六本木 国立新美術館	「San - Gai II」
知 野	愛 (著書) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学 教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討し 作成した。担当箇所は第11回「かかわる 力を育てる(2)働き続けるための支援」。
桑 野	聡 (学術論文) 1. ヨーロッパの歴史学と「中世」 ー 暗黒の中世像の形成と新たな 「中世の発見」	単	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	2021年6月19・20日に放送大学福島学習 センターで実施した面接授業の内容を基 に論文化。「中世」評価の変容を手掛か りに、近代歴史学の諸相を考察した。
	(その他) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学 教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討 し、作成した。
	2. 都市史研究への開かれた窓	単	2021年12月	『比較都市史研究』第 40巻 25～26頁	「比較都市史研究会結成50周年に寄せて」 において自身の思い出をまとめた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
會 田 容 弘	(学術論文) 1. 里見勝蔵が注目したルオー作品 －1924年ドリュエ画廊におけるル オー展作品目録への書き込みを手 掛かりに－	単	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	1924年パリ、ドリュエ画廊で開催された 「ルオー展」を見学した里見勝蔵はルオー の絵画に感動し、『中央美術』誌で紹介 した。それがルオーを日本に最初に紹介 した文献である。里見の所持していたル オー展カタログには見学時の書き込みが あった。それをもとに里見のルオー作品 への視点を復元した。
	2. 笹山原遺跡No.16第20次発掘 調査	共	2021年12月	『第35回東北日本の旧 石器文化を語る会予稿 集』（電子版）	洪恵媛・工藤雄一郎・藤原妃敏と共著 2021年9月に実施した笹山原遺跡発掘調 査の旧石器時代に関する調査成果を報 告。
	(その他) 1. ②我が青春の山形大学	単	2021年10月	ふすま同窓会百年史編 集部『ふすま同窓会百 年誌－伝統を紡ぎ未来 に続く－』pp. 244- 245	山形大学時代の恩師川副武胤教授の思い 出を記したもの。
	2. 第99回まなべこ歴史文化講座 「笹山原発掘20回 21年間の思い 出・感謝を込めて」	講演（単独）	2021年12月 12日	会津若松市歴史資料セ ンター	20回実施した笹山原遺跡No.16の歴史と 調査成果について報告した。
小 松 太 志	(展覧会) 1. 第71回モダンアート展	単	2021年4月	東京都美術館（東京都 台東区）	モダンアート協会の美術公募展。作品： 「滾々」。第70回記念賞・村井正誠記念美 術館賞 受賞。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 第35回モダンアート福島支部展	単	2021年 8 月	郡山市民ふれあいプラザ（郡山市）	モダンアート協会福島支部主催の会員による美術展。作品:「滾々」「淙々」「湛々」
	3. 第 3 回郡山開成学園美術展	単	2021年 8 月	うすい百貨店 8 階 ギャラリー	学校法人 郡山開成学園主催による学生・生徒、教員の美術展。作品:「累々」
	4. 新しいAIZUの美術展	単	2021年10月	會津稽古堂 多目的 ホール	公益財団法人会津若松文化振興財団主催による会津地域、福島県内作家の美術展。作品:「漸々」、「湛々」、「淙々」
	(デザイン) 1. 生活文化博物館のVIデザイン	単	2022年 2 月	学校法人 郡山開成学 園	生活文化博物館のロゴタイプ及びロゴマークのデザインを制作した。
	2. 復興の灯火プロジェクトの広報ツール	単	2022年 3 月	復興の灯火プロジェク ト	復興の灯火プロジェクトのチラシ、ポスター等を制作した。
松 田 理 香	(作品発表・展示会等) 1. 2021 現代童画会 春季展	単	2021年 4 月 5 日－11日	会場：銀座アートホー ル（東京都中央区銀座）	主催：現代童画会 作品名：「安全空域」（S 8 号） 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆
	2. 第47回 現代童画展	単	2021 年11 月 10日－16日	会場：東京都美術館 （東京都）	主催：現代童画会 作品名：「森の楽譜（スコア）」 （S80号） 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
山 口 猛	(著書) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学 教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討 し、作成した。 担当箇所は「メール送信マナー・レポー ト作成」と「マンダラチャートを使用し た理想のキャリアを考える手法」をまと めた。
	(学術論文) 1. マインドマップとループリッ クの組合せによる学修過程評価	単	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	定量評価が難しい科目において、マイン ドマップとループリックを組み合わせる ことで、学修評価を適切に行う手法を提 案した。
	(その他) 1. マインドマップとループリッ クの組合せによる学修過程評価	単	2021年11月 13日	教育システム情報学会 第4回研究会	定量評価が難しい科目において、マイン ドマップとループリックを組み合わせる ことで、学修評価を適切に行う手法の実 践成果を発表した。
仲 田 佐和子	(著書) 1. 『キャリアデザイン』(第4期 テキスト)	共	2022年3月	郡山女子大学教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」の 次年度から3年分の新しい教材を検討 し、作成した。
	(その他) 展示 1. 「郡山女子大学短期大学部地 域創成学科発掘ガールー2021年今 年は掘ります!ー」	共	2021年9月 4日～10月 3日	大安場史跡公園ガイダ ンス施設	2001年から継続実施した笹山原遺跡No.16 の調査記録をパネルにより紹介、展示し た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 「発掘ガール－秋の発掘祭り－」	共	2021年12月 5日～2022 年1月10日	会津若松市歴史資料セ ンター企画展示室	笹山原遺跡No.16の2021年調査成果と20年 にわたる発掘調査の記録を展示した。
黒 沼 令	(学術論文) 1. 郡山女子大学内ブロンズ像の 彫刻史的位置	共	2022年3月	郡山女子大学紀要第58 集	著者：齋藤美保子、黒沼令 主に1章を執筆した。郡山女子大学内の ブロンズ像は、1980年代、90年代の日本 彫刻受容史と期を一にしつつ、創立者の 各年代の人間に対する思いが造形化され た濃密なコレクションであるという結論 に至った。
	(その他) 1. 第95回国展彫刻部	単	2021年5月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。「画家」(70×25×30cm櫨)、 「哲学者」(70×20×30cm櫨) 出品 (展覧 会は緊急事態宣言の発令のため中止)。
	2. 第75回福島県総合美術展	単	2021年6月	福島県文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。「画家」(70×25× 30cm櫨) 出品。
	3. 第3回郡山開成学園美術展	単	2021年8月	うすい百貨店 福島県郡山市	共同展示会。「うれう」(160×50×30cm桧) 出品。
	4. 2日展	単	2021年8月	福島テルサ 福島県福島市	共同展示会。「数学者」(60×20×25cm櫨・ 桐) 出品。
	5. 第30回福島県シルバー美術展	単	2021年9月	福島県文化センター 福島県福島市	福島県社会福祉協議会主催の公募展。審 査員として「哲学者」(70×20×30cm櫨) 出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	6. 国展秋季展	単	2021年11月	東京都美術館 東京都台東区	共同展示会。「哲学者」(70×20×30cm 櫨) 出品。
	7. 第74回岩手芸術祭美術展	単	2021年11月	岩手県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。「猿－Ⅱ」(25×10 ×10cm 桂・櫨) 出品。 彫刻部門奨励賞受賞。
	8. 第57回福島県彫刻会展	単	2021年11月	福島県文化センター 福島県福島市	共同展示会。「画家－Ⅱ」(70×25×30cm 櫨) 他2点出品。
	9. ふくしまの芸術文化	単	2021年12月	福島県文化センター 福島県福島市	福島県芸術文化団体連合会・創設50周年 記念事業の展示会。「眩く人」(160×50 ×50cm エゾ松・桂・櫨) 出品。
	10. 9人によるNEW YEAR展～ 岩手・山形・福島から	単	2022年1月	Art Space Elicona いわき市	共同展示会。「画家－Ⅱ」(70×25×30cm 櫨) 他2点出品。
	11. アートアニュアル2022かたち が生まれるとき－吾子可苗・黒沼 令	単	2022年2月	福島県立美術館 福島県福島市	福島県立美術館主催の企画展。 「刹那」(210×100×100cm 櫨・楠)、「漂 う人」(220×120×100cm 櫨・桂・水木)、 「哲学者」他12点出品。
佐 藤 愛 未 (著書)	1. 『明治開拓村の歴史－福島県 安積郡桑野村－』	共	2021年12月	安積開拓研究会	「開成山公園」、コラム「開成山公園とボー ト設置構想」などの執筆を担当。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 「明治初年の東北地方における官立学校について－山形藩校と学而館の事例を中心に－」	単	2022年 3 月	郡山女子大学紀要第58集	明治5年「学制」発布以前における官立学校について、旧山形藩校「立誠堂」及び明治初年に酒田に設置された「学而館」の事例を中心に、その運営実態などの調査検討をおこなった。
	(その他) 1. 「シンポジウム「公文書管理法後の自治体と文書管理」に参加して」	単	2022年 2 月	地方史研究 第415号	2021年9月11日(土)に開催された、自治体アーカイブズ研究会および地方公共団体における公文書管理の現状に関する調査・研究主催によるシンポジウムの参加記。
和 知 剛	(学術論文) 1. 利用者カードをめぐる最近の動向：公共図書館を中心とした	単	2021. 6	カレントアウェアネス 348, 13-15	最近の利用者カードの様相にはふたつの潮流があると考えられる。同じ利用者カードというガジェットを扱っていながら、片方は手元に残るスーヴェニール的な扱いを、他方は手元から現物が姿を消すという、相反する様相を示している。
	(その他) 1. 福島県南高校図書館研究会研修会講師	単	2021.10. 8.	須賀川市民交流センターtette	大学入学前に高校生に身に付けておいてほしいこと
	2. 令和3年度郡山市立学校 学校図書館研修会講師	単	2021.11.24.	オンライン	「情報を判断する力」を身に付けてもらうための学校図書館のあり方

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
米 本 順 子 (その他)	1. 第95回国展	単	2021年 5 月	国際名古屋展 愛知県立美術館	団体公募展。 『好き勝手』F130号。絵画部会友賞受賞。 緊急事態宣言により国立新美術館での展 示中止。
	2. 第5回コレカラノヒトタチ展	単	2022年 1 月 31日～2 月 6 日	銀座ギャラリーあづま (東京都中央区銀座)	グループ展。 F 8 号、M 3 号 計 2 点。

【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人大学・短期大学基準協会	理事長 大学・短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	副会長 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のための原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
【郡山女子大学】		
山 形 敏 明	全国建築系大学教育連絡協議会	「全国建築系大学教育連絡協議会」総会において連絡代表責任者として議案について審議する。
	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。
	知的生産者選定支援機構評議員	知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力する。
	小野町地域創生総合戦略推進会議委員（2021年5月～2022年2月）	小野町地域創生総合戦略推進会議の委員として、「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について意見を提出し協議する。
	福島放送放送番組審議会委員（2021年10月～）	原則月1回の放送番組審議会において、福島放送作成番組の意見答申を行う。
熊 田 伸 子	福島県介護サービス苦情処理委員会	委員 福島県国民健康保険団体連合会で受け付けた介護サービスの苦情・相談について、対応を審議した。
	郡山市地方社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会	委員（委員長） 郡山市の社会福祉に関する事項について審議した。
	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 第七次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進行管理および第八次計画策定に向けて協議した。
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した。
	社会福祉法人郡山市社会福祉協議会第5次地域福祉活動計画策定委員会	委員 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会『第5次地域福祉活動計画』の策定に向けて協議した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	社会福祉法人郡山市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画進行管理委員	委員（副委員長） 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会『第4次地域福祉活動計画』（2018～2021年度）の進行管理及び各事業の今後の方向性について審議した。
	鏡石町（仮称）健康福祉センター基本計画策定委員会	委員 健康福祉センター整備基本計画について協議した。
	社会福祉法人くわの福祉会	監事 当法人の業務執行状況について監査を行った。
	社会福祉法人郡山福祉会	評議員
関 川 悦 雄	郡山市教育委員会協力委員	小・中学校使用の教科用図書の選定作業は未活動。
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	令和3年度の必修領域「国の教育政策や世界の教育の動向」を担当した。
	関東教育学会理事	当学会の全般にわたる運営を図ること、紀要の編集や大会校の選定・大会事業などを支援し協力すること、その他学会の発展に寄与するような活動を行うこと。
山 本 裕 詞	NPO法人 発達支援機関 リソースセンターONE（ワン）	役員（監事） 発達障害児の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演活動等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。
	東北教育学会	東北教育学会において、福島県の理事代行として理事会等に参加し、会の運営に携わった。
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	選択必修領域Ⅰの講師として「学校を巡る近年の状況の変化」を講義。また、同プログラム実施委員として、プログラムの円滑な実施に努めた。
石 原 正 道	郡山市個人情報保護審議会	委員 諮問に応じ、審査・答申と情報保護評価の点検を行う。個人情報保護の推進への意見を述べる。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市情報公開審査会	委員 諮問に応じ、審査・答申を行う。個人公開の促進に関する事項について意見を述べる。
	郡山地方広域消防組合個人情報保護審議会	委員 諮問された事項に関する審議を行い、個人情報保護制度に関する意見を述べる。
安 田 純 子	福島県留学生交流推進会議運営委員会	運営委員 留学生交流事業協力、会議等の出席（オンライン等）
	郡山市国際交流協会運営委員会	委員 郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席（オンライン等）
	福島県医療福祉関連教育施設協議会	理事 事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修準備
	令和３年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	講師として、教員を対象に「労働と家庭生活」と題して講義を実施した。
廣 野 正 子	令和３年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	教員を対象に「生活の質とアロマテラピー」と題して講義を行う。
	令和３年度郡山市内大学との協定の基づく連携事業	委員 郡山市教育委員会と連携し、大学生ボランティア事業の推進を行う。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福祉研修事業運営委員会	委員 学識経験者として運営委員会に携わる。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県介護研修事業検討委員会	委員 介護実習・普及事業実施について学識経験者として審議する。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター運営委員会	委員 需要・供給関係者として福祉人材センターの推進に携わる。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福祉・介護人材定着促進検討委員会	委員長 福祉・介護人材定着促進検討委員会において、司会として議事進行に携わる。
	福島県 福祉・介護人材育成確保対策会議	学識経験者として事業に携わる。
	福島県介護福祉士養成校連絡会	幹事 連絡会において司会として、審議事項や情報共有を円滑に進行した。
阿 部 恵利子	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。
	福島県森林審議会委員	福島県における森林・林業の計画等を審議する。
	福島県森林林業緑化協会 月刊『林業福島』執筆	森林・林業の新しい技術や知識など広範囲にわたる情報を発信する。
	知的生産者選定支援機構評議員	知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力する。
	令和３年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	2021年８月５日(木)会場：郡山女子大学 「快適な住空間を創造する」講師
	小野町「フューチャーデザインワークショップ」	小野町主催のワークショップに参加し「公共施設」について議論・講評を行った。
	2022年日本の心と美の祭典 全日本きもの装いコンテスト東北大会審査員	公益財団法人全日本きものコンサルタント協会主催のきもの装いコンテストにおいて、きものの着装技術を審査した。
瀬 谷 真理子	福島県文化振興審議会	委員・福島県の文化振興を図るため設置された委員会において本県の文化振興の在り方等について審議する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	令和３年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	教員対象に「衣生活文化の継承と創造」と題して講師を務めた。 2021.8.5
長 田 城 治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会 幹事	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に幹事として携わった。
	日本建築学会民家小委員会 委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。
	福島市文化財保護審議会 委員	福島市文化財保護審議会の委員として、同市文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。
	国見町文化財保護審議会 委員	国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。
	三春町歴史民俗資料館運営協議会 委員	三春町歴史民俗資料館運営協議会の委員として、同資料館の運営について協議し、三春町の歴史や文化の向上にむけた取り組みを提案した。
	高畠石の会 顧問	「高畠石の会」（山形県高畠町）の顧問として、高畠石に関する調査活動や高畠石の広報活動を行った。
	熱中小学校 社会科教員	NPO法人はじまりの学校
	近現代建造物緊急重点調査（建築） 調査員	第二次世界大戦終結時(1945年)から20世紀末(2000年)までに造られた優れた建築物や土木工作物（近現代建造物）の保護を目的とする調査の福島県調査員を担当した。
	受託調査事業：国見町松田家住宅主屋・土蔵・門塀の国登録有形文化財申請	国見町貝田地区に所在する松田家住宅の主屋・土蔵・門塀について、国登録有形文化財に具申するための各種調査を実施し、所見を作成して文化庁に提出した。委託者：国見町役場企画調整課

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	受託調査事業：令和４・５年度近現代建造物緊急重点調査（建築）予備調査リストの作成	令和４・５年度に実施する福島県の近現代建造物緊急重点調査（建築）に必要な予備調査リストの作成を実施した。委託者：(公社)日本建築士会連合会
	受託調査事業：伊藤久男生家の建物調査	本宮市伊藤久男の生家に関する建物調査を実施し、解体予定の主屋・前蔵・新蔵・表蔵に関する所見をまとめた。また、主屋・前蔵・新蔵については実測調査を行い、各種図面を作成した。
	シンポジウム講演：日本建築学会東北支部みちのくの風－2021特別企画東北探訪エクスカーショーン・シンポジウム「震災復興10年とこれからの10年」災害連絡調査会×福島県沖地震	日本建築学会東北支部みちのくの風－2021におけるシンポジウムで、日本建築学会東北支部歴史・意匠部会の代表として「歴史的建造物の被害」と題した講演を行った。主催：日本建築学会東北支部
	講習会：ヘリテージマネージャー育成講習会講師	講習「登録有形文化財申請に係る「所見」の書き方ほか」主催：福島県歴史的建造物保全活用推進協議会
	講演：會津熱中塾第9期	授業：「旅先で役立つ建築のミカタ－歴史的建造物を100倍楽しむ方法－」主催：一般社団法人會津熱中塾
	講演：住空間史学研究会	第17回住空間史学研究会で「高畠石と国見石にみる石材生産と建築利用の関係」と題する講演を行った。
	体験イベント企画・運営：三春たてもの探検2021	国登録有形文化財に認定された旧吉田家住宅主屋（現三春町伝承館）および紫雲閣を会場に、三春町の古い建物の魅力を再発信するイベントの企画・運営に携わった。特別限定公開した紫雲閣の案内人を務め、子供向けワークショップを開催した。主催：三春町教育委員会、郡山女子大学家政学部生活科学科建築デザイン専攻 後援：三春町、福島民報社、福島民友新聞社、福島県左官業組合連合会

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	見学イベント：蛇の鼻御殿解説付特別公開	蛇の鼻御殿の解説付特別公開イベントに関する企画および解説者を担当し、お子様向けワークショップの運営も行った。主催：花と歴史の郷蛇の鼻
	番組制作協力：BS朝日「百年名家」	BS朝日の番組「百年名家」で取り上げた#251「生糸商人が贅を尽くした銘木の館～福島県三春町を伝承する「旧吉田家住宅」～」(9/5放送)、#253「意匠の限りを尽くした離れの蔵座敷～福島県三春町「旧吉田家住宅・紫雲閣」～」(9/25放送)の番組制作に協力した。
	番組制作協力・出演：BS朝日「百年名家」	BS朝日の番組「百年名家」で取り上げた#256「彫り物がもてなす迎賓の館～福島県本宮市「蛇の鼻御殿」～」(10/20放送)、#257「圧巻！銘木の蔵座敷～福島県本宮市「蛇の鼻御殿」続編～」(10/27放送)の番組制作に協力し、案内人として出演した。
Daniel Horner (ダニエル・ホーナー)	Miharu Town's Junior High School English Oratorical Committee and Contest	Chief judge of the English speech contest and committee member. My duties are to recruit new judges, preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to ameliorate the contest.
	Koriyama City's Junior High School English Oratorical Committee and Contest	Chief judge of the English speech contest. My duties are to preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to improve the contest.
	University of Wisconsin – Eau Claire (UWEC) Alumni Association	Coordination of international exchanges of information, cultural heritage, teachers, and students between Fukushima and Wisconsin State, USA.
近 内 直 美	福島県社会福祉協議会運営適正化委員会	委員 社会福祉サービスに関する苦情の解決や、福祉サービス利用援助事業の適正な運営確保に協力した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市障害者介護給付費など支給審査会	委員 介護給付費等の支給に関して、障害支援区分の審査判定に協力した。
	福島刑務支所における「女子施設地域連携事業に係る社会福祉士受刑者相談事業」	相談員 権利擁護及び再犯防止のため、受刑者との面接や他機関との連携への助言などの支援活動を行った
	本宮市地域連携事業	「本宮市高齢者いきいき交流事業」開催における企画、運営に当大学の学生と共に参加し、高齢者生きがい対策に協力した
	福島県高齢者虐待対応専門職チーム	運営委員 福島県社会福祉士会と福島県弁護士会との協同により、虐待対応に関する研修の企画運営、福島県内の市町村の虐待対応ケースへの助言などの協力をした。
	郡山市第1層協議体	構成員 郡山市の地域共生社会構築に向け、地域の現状と第2層協議体の構築の進捗状況を把握し、第2層協議体の構築に関して協力した。
	郡山市市民協働のまちづくり推進協議会	委員 「第二次郡山市協働推進基本計画」、「第二次こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」の推進について協力した。
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	相談援助と福祉制度について、講義を行った。
	特定非営利活動法人 あいえるの会	理事
	一般社団法人 社会福祉工会	綱紀委員
藤 田 京 子	福島県喀痰吸引等基本研修	2021年度福島県喀痰吸引等基本研修において不特定多数を対象に講義を行った。（2021年7月1日）
	福島県喀痰吸引等基本研修実施委員会委員	福島県喀痰吸引等実施委員会委員として基本研修実施の運営等に協力した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業開催における企画、運営に協力した。
西 山 慶 治	公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構審査委員	技術等審査委員会委員として研究開発助成事業案に対する審査を実施(2021.7.2)
	福島県立医科大学倫理委員会	専門部会委員として医科大学での臨床試験研究に対する倫理審査を2年間(任期は2022.7.31まで)
	福島県立医科大学保健科学部	非常勤講師として保健科学部の学生に解剖学総論と解剖学各論の講義を2回ずつ実施(2021.6.1～7.1、2021.9.1～10.31)
	仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科(会津若松市)で解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義(10回)を行った(2021.4.1～2022.3.31)。
	放送大学での面接講義	「ヒトの機能解剖と比較形態学」の面接講義を2日間8コマ行った(2021.11.13,14)。
菊 池 節 子	福島県県中農林事務所	普及指導協力委員 福島県県中農林事務所所管内の農作物等の普及について、6次化開発などを通しての検討等に携わっている。
	郡山市地域福祉計画策定委員会	委員 郡山市の地域福祉計画策定案の検討等に携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」調査研究委員会	調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。
	健康教育(食習慣、肥満等)に係る専門家派遣事業	講師 福島県教育委員会主催。白河市立東中学校1年生・保護者を対象に、「スポーツと食事」のテーマで栄養教室の講師を務めた。(2021年7月2日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	学法法人石川義塾中学校食育講演会	講師 中学生の保護者を対象に、「成長期の健康と食事」のテーマで講師を務めた。(2021年7月12日)
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	選択領域家庭科講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に、「食生活における調味料の役割」のテーマで、甘味料を中心に講義と実習を行った。(2021年8月6日)
	ペップキッズ郡山食育イベント	講師 2～12歳の親子を対象に、子どもの健全な発育発達に必要な知識を学ぶ親子向けのワークショップとして「『だし』を学んでみよう!!～手打ちうどん」の体験活動を実施した。(2021年8月22日・9月19日)
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	本学とJA福島さくらとの包括連携協定に基づき、郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。(販売期間:第1弾2022年2月4～6日、第2弾11～13日、第3弾18～20日、場所:アグリア、旬の庭)
	古殿町包括連携事業	本学と古殿町との包括連携協定に基づき、町の特産品であるミニトマトの6次化商品開発に携わっている。
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	福島民報紙「シニア・健康」編集・協力	福島民報令和3年9月27日付の記事「コロナに負けるな!県民ライフキャンペーン 専門家インタビュー①」編集協力として、減塩に関する情報を提供した。
	一般社団法人 日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	一般社団法人 日本調理科学会	代議員として会の運営に携わっている。
	一般社団法人 日本調理科学会東北・北海道支部	地区委員として会の運営に携わっている。
坂 上 茂	郡山市廃棄物減量等推進審議会	審議会の委員（学識経験者）を務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で開催された親子料理教室において講師を務めた。（2021年11月20日）
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
岡 部 聡 子	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	協議会委員を務めた。
	タビックスジャパン郡山支店内の研修会 2021年 7 月 16 日	「コロナ感染防止対策とコロナ禍における食生活について」と題して、福島県飲食業等における新型コロナウイルス感染症対策に取り組む飲食店等の現地調査員に対するオンライン講習会を実施した。
	NPO法人プチママン主催講演会 2021年 8 月 2 日、2022年 3 月14日	「子どもの食事とアレルギー～安全で安心な食事を作ろう～」と題して一般市民向けにニコニコ子ども館にて講習会を実施した。
	郡山女子大学附属幼稚園父母の講座 2021年12月 7 日	「親子で楽しむ健康なからだづくり～日々の食生活から実践しよう～」と題して、附属幼稚園の保護者に対して講習会を実施した。
	福島県内の小学校における食育活動	小学生の鉄摂取量を向上させる栄養教育活動を各小学校で実施した。 2021年 6 月26日鏡石第二小学校, 2021年 9 月27日醸芳小学校 2021年10月28日渡利小学校, 2021年11月22日栗野小学校 2021年12月14日鏡石第一小学校
	日本栄養改善学会東北支部幹事	日本栄養改善学会東北支部市民公開講座の企画運営

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
亀 田 明 美	郡山市中学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会運営委員会において、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を書面で行った。
	西郷村食育推進検討委員会	委員：福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として関わった。
	第54回東北学校保健大会	指導助言：食に関する指導の分科会において指導助言を行った。
	令和3年度郡山市学校給食研究会研修会	講師：令和3年度郡山市学校給食研究会研修会において、自分手帳を活用した食育の推進について講演を行った。
	健康教育に係る専門家派遣事業	講師：福島県教育委員会主催の専門家派遣事業の講師として、泉崎村立泉崎中学校において食育講演会を行った。
	令和3年度西白河地区学校給食研究会	講師：令和3年度西白河地区学校給食研究会研修会において、学校における食育の推進とその評価について講演を行った。
	令和3年度福島県保育士等キャリアアップ研修	講師：令和3年度福島県保育士等キャリアアップ研修、食育・アレルギー対応の分野において講師を務めた。
	鏡石町食育講座	運営・講師：鏡石町において住民を対象とした食育講座の企画運営を行い、講師を務めた。
	郡山開成地区における子ども食堂運営協力	運営協力：NPO法人かぜのwa主催の子ども食堂において、プログラミングを活用した食育講座を行った。
	日本栄養改善学会東北支部市民公開講座	2月19日(土)「コロナ禍における免疫力アップ」と題して開催し、その運営に携わった。
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	教員免許状更新講習会受講生を対象に、「学校における食物アレルギー対応について」のテーマで、講義を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	塙町立塙中学校教育講演会	塙町立塙中学校の保護者・教職員を対象に「将来の食の自立に向けて」をテーマとした講演を行った。
	東京都立川市・市政アドバイザー	立川市の学校給食運営について、市政アドバイザーとして助言した。
影 山 志 保	森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」	福島県森林計画課による補助金で、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のために環境調査を行っている。今年度は遊歩道づくりや薬木の調査、鳥の調査などの様々な調査から施設の今後の活用方法について検討した。(令和2年3月1日から現在に至る)
	水未来基金水環境保全活動事業 「猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の水質と生物調査」	福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域の研究予算を用い、裏磐梯と稲苗代湖沼地域の水質調査と特定外来生物ウチダザリガニの分布について調査した。猪苗代湖の北側と南側の分布調査では猪苗代湖の北側でウチダザリガニを確認した。(令和3年4月1日から現在に至る)
	国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク研究センター客員研究員	国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からリスク評価を担当した。(令和3年4月1日から現在に至る)
	一般社団法人日本家政学会東北支部幹事	日本家政学会東北支部会の運営等を担当している。 (令和3年4月1日から現在に至る)
	福島県公害審査会審査委員	福島県内の公害紛争処理を担当した。 (令和3年4月1日から現在に至る)
	令和3年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口 英世賞審査会審査委員	福島県内の中学生・高校生の科学・技術研究論文の審査委員を務めた。 (令和3年10月11日福島県教育委員会)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 (令和3年4月1日から現在に至る)
佐 藤 浩 明	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業等郡山市推進アドバイザー	大会関連事業に係る指導及び助言に関すること。 大会関連事業に係る人材育成への指導及び助言に関すること。 その他市長が必要と認める事項に関すること。
	国民体育大会福島県少年女子バレーボール監督	福島県少年女子バレーボール監督、試合、練習等の計画をすること。
黒 澤 廣 子	福島県糖尿病療養指導士会	令和3年度 第14回福島県糖尿病療養指導士会講習会講師 演題名「糖尿病の基本治療と療養指導 食事療法」動画による講習会
	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩けんこう教室「血管すこやか大作戦」の実施 第1回 6月11日(10:00~12:00)参加者9名 ・塩分チェック・講話 第2回 7月10日(10:00~13:00)参加者9名 ・味覚チェック・調理実習 第3回 8月6日(10:00~12:00)参加者10名 ・味覚チェックと塩分チェックの結果説明 ・加工食品の塩分量チェック ・グループワーク 等
	令和3年度第1回連携中核都市圏「全世代健康都市圏」創造事業懇談会 書面による開催 2021/9/17	SDGs事業「全世代健康都市圏」創造事業について、医療・介護・福祉などに関する専門的な知識を有する者その他の学識経験者から意見を聴くことを目的とした懇談会
郡 司 尚 子	第4次郡山市食と農の基本計画策定にかかわる有識者懇談会	委員 「第4次郡山市食と農の基本計画」の策定にむけて、審議した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	選択領域家庭科講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に「食生活における調味料の役割」のテーマで、甘味料を中心に講義と実習を行った。（2021年8月6日）
	福島県農業総合センター農業短期大学校	非常勤講師。「食品製造」を担当した。
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	見える化セミナーinこおりやま	講師 福島イノベーション・コースト構想主催で実施されたセミナーに講師として参加。「葛尾村におけるエゴマ栽培を通じた地域連携活動」について講演した。（2021年9月24日）
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発	食物栄養学科1年生と共に、檜葉町ならびに共同開発店舗とともに、町の特産品である甘藷を活用した商品開発を行った。（2021年10月～2022年3月）
	葛尾村地域復興支援	葛尾村あぜりあ市の運営に協力した。葛尾村で栽培したエゴマを利用して考案した商品を調理し、来場者へ試食していただいた。また、開発したエゴマアイスの紹介も行った。（2021年11月3日）
	エゴマアイスの商品化	くだもの畑が経営するジェラード店ハニービーと共同開発したエゴマアイスが商品化され、ハニービー各店舗、葛尾村復興交流館あぜりあ、女子大購買部、焼肉上杉で発売が開始された。（2021年12月8日）
	う米めんレシピ開発	食物栄養学科、健康栄養学科学生と共に、アルファ電子（株）が販売しているう米めんを活用したレシピ開発を行い、料理教室参加、レシピ集作成等を通じて、米の消費拡大の一助に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	茶葉の商品化支援	スリービーシステムズ(株)と連携し、学生と共に商品化のため、紅茶・緑茶のティーバックパッケージデザイン、浸出液の成分分析を行った。
	令和3年度大学連携会議	葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案についてオンライン会議で報告し、意見交換を行った。（2021年1月31日）
長谷川 貴 弘	郡山看護専門学校	非常勤講師：「家族社会学」を担当。
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	教員免許状講習会受講生を対象に、「家庭経営と経済」及び「消費者問題」について講義した。
諏 訪 雅 貴	日本体力医学会	評議員
	日本体力医学会東北地方会	役員
	郡山市あさかの学園大学	講師「生涯学習講座」
	福島大学	共生システム理工学類非常勤講師「健康・運動科学実習Ⅰ」および「健康運動科学実習」担当
	International Journal of Environmental Research and Public Health	原著論文のゲスト査読員 3件
	Journal of Physiological Sciences	原著論文のゲスト査読員 1件
	PLOS ONE	原著論文のゲスト査読員 1件
伊 藤 央 奈	復興農学会	復興農学会の事務局役員として運営に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市社会教育委員	委員として「地域学校協働活動推進事業の在り方」についての協議を行った。任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日
	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩けんこう教室「血管すこやか大作戦」の実施 6月11日（10：00～12：00）参加者9名 ・塩分チェック ・講話
	公益社団法人福島県栄養士会	福島県栄養士会生涯教育研修会において講師を務めた。2021年8月28日
	食物栄養学科 学科セミナー	学科セミナーで講師を務めた。2021年12月1日
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。家庭向けのヘルシーメニューの開発と動画の提供を行った。2022年2月
	学校法人石川義塾の学生寮の栄養管理	学校法人石川義塾の学生寮の献立を作成し、入寮する生徒に対しての栄養管理を行った。
星 千 歳	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩けんこう教室「血管すこやか大作戦」の実施 第2回 7月10日（10：00～13：00）参加者9名 ・味覚チェック ・調理実習 第3回 8月6日（10：00～12：00）参加者10名 ・味覚チェックと塩分チェックの結果説明 ・加工食品の塩分量チェック ・グループワーク 等
	郡山市健康づくり推進懇談会	委員：「第二次みなぎる健康生きいきこおりやま21」、「第四次郡山市食育推進計画」の推進に、委員として携わった。
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した食の広報・PR業務	チャレンジふくしま県民運動推進協議会の受託事業として、家庭向けヘルシーメニューを開発し、メニュー解説動画撮影に協力して、県民運動の普及に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
善 方 美千子	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	理事：福島県における生涯スポーツの普及や、体力向上を目指す事業を推進するための理事会に出席、および学生の参画について協力。 (任期2020.7.1 - 2022.6.30 福島県青少年会館)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	日本栄養改善学会東北支部市民公開講座	2月19日(土)「コロナ禍における免疫力アップ」と題して開催し、その運営に携わった。
柳 沼 和 子	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発	食物栄養学科1年生と共に、檜葉町ならびに共同開発店舗とともに、町の特産品である甘藷を活用した商品開発を行った。(2021年10月～2022年3月)
	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「アプリを使って簡単・時短・作り置き食育講座」	鏡石町民を対象としたアプリを使って簡単・時短・作り置き食育講座（講話・調理実習）の企画運営を行った。実施 8月7日(10:00～13:00) 参加者 会場9名、オンライン3名
	郡山開成地区における子ども食堂	運営協力：NPO法人かぜのwa主催の子ども食堂において、プログラミングを活用した食育講座を行った。実施 7月31日、12月18日
	日本栄養改善学会東北支部市民公開講座	2月19日(土)「コロナ禍における免疫力アップ」と題して開催し、その運営に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
橋 本 杏 菜	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩けんこう教室「血管すこやか大作戦」の実施 第1回 6月11日（10：00～12：00）参加者9名 ・塩分チェック ・講話 第2回 7月10日（10：00～13：00）参加者9名 ・味覚チェック ・調理実習
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	日本栄養改善学会東北支部市民公開講座	2月19日（土）「コロナ禍における免疫力アップ」と題して開催し、その運営に携わった。
根 本 絢 香	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩けんこう教室「血管すこやか大作戦」の実施 第3回 8月6日（10：00～12：00）参加者10名 ・味覚チェックと塩分チェックの結果説明 ・加工食品の塩分量チェック ・グループワーク 等
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	日本栄養改善学会東北支部市民公開講座	2月19日（土）「コロナ禍における免疫力アップ」と題して開催し、その運営に携わった。
吉 田 朱 里	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	本学とJA福島さくらとの包括連携協定に基づき、郡山女子大学食物栄養学科学学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。(販売期間:第1弾2022年2月4～6日、第2弾11～13日、第3弾18～20日、場所:アグリア、旬の庭)
【郡山女子短期大学部】		
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	事業団の運営を協議する会議(6/21)に出席すると共に、同事業団の広報活動の学内窓口となった。
	福島県立美術館運営協議会	委員として美術館の運営を協議する(3/10)と共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
	郡山市美術品収集評価選定委員会	委員として郡山市立美術館の作品収集を協議する会議(12/16)に出席すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
	服飾美学会	今年度はZoomを利用したオンライン会議(6/26、12/19)で、学会運営と企画を協議し、研究会の司会等の活動を行った。
	郡山市総合計画審議会	2018年2月に策定された「郡山市まちづくり基本方針」8年計画の折り返しに際し、1月18日、品川萬里市長より諮問を受け、答申を協議中。
會 田 久仁子	ラジオ福島番組制作協力	月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開!朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。令和3年5月および11月それぞれ5回分担当
	福島中央テレビ番組審議委員会	福島中央テレビ番組審議委員会に出席し、毎月提示される福島中央テレビ制作の番組について審議意見を述べている。
	郡山市環境審議会委員会	郡山市長より委嘱され令和元年11月から郡山市環境基本計画の進行管理等を審議し、答申案を提出した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催 本学で開催した親子料理教室の運営にあたった。令和3年11月20日(土)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)
水 野 時 子	公益社団法人 福島県栄養士会理事	福島県栄養士会理事として栄養士会の運営に携わった。
	公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員	運営委員長として運営に携わった。
	郡山警察署協議会委員	郡山警察署協議会に出席し、委員長として協議会運営に携わった。
	鏡石町総合計画審議会委員	審議会に出席し、総合計画に対する意見を述べた。
	「和食」と地域文化継承推進委託事業に係る福島県地域検討委員会委員	検討委員会委員長として、福島県伝統料理（食文化）の継承事業に携わった。
	第18回（令和3年度）栄養士実力認定試験問題採用（栄養学各論）	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第18回（令和3年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催で、本学で開催した親子料理教室の運営にあたった。2021年11月20日(土)開催
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)
源 川 博 久	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催。本学で開催した親子料理教室において運営をおこなった。(2021年11月20日)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
小 林 澄 枝	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や凍み餅を使った商品開発の活動を行った。
	カップヌードル ちょい足し青春アレンジコンテスト	お弁当サークル「めばえ食堂」のメンバーによるカップヌードルのアレンジメニューの取材があり6品目の試作品を紹介し、その状況がVTR撮影される際、顧問としてアドバイスをを行った。結果、イカ人参のちょい足しアレンジメニューが優勝した。 TUF テレビユー福島 2021年10月29日(金)16:50~17:50放送
	食欲の秋!健康食、ローフードとは?	ローフードという食事について専門家としての見方について、テレビユー福島報道部よりリモートでの取材に答えテレビで放映された。 2021年11月2日(火)午後6時15分から放送
	ネクストホープ研修	医療福祉系の学校(8校)で学ぶ学生が、多職種の仕事を理解し自分の職種が果たすべき役割を考えることを目的に研修会が2回開催され、本学では、第1回研修会、大学食物栄養学科4名 第2回研修会、大学食物栄養学科5名、短大 健康栄養学科4名 計13名が参加した。委員として参加、企画支援を行った。 第1回研修会 2021年10月16日(土) 会場：白河厚生総合病院附属高等看護学院 第2回研修会 2021年11月13日(土) 会場：国際医療看護福祉大学校
	葛尾村地域復興支援	葛尾村あぜりあ市の運営に協力した。葛尾村の特産品「凍み餅」を利用して考案した商品「凍みうぐいす餅」と「凍みチョコ餅」の2品を試食し来場者に試食していただきアンケート調査を行った。 2021年11月3日 会場：葛尾村 あぜりあ

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	海と日本プロジェクト 親子料理教室 「さばける塾inふくしま」	日本さばけるプロジェクト実行委員会、日本財団が主催し親子でさばき方を学ぶ公開講座を開催し、親子7組が参加した。その企画・運営を担当した。2021年11月20日(土) 会場：郡山女子大学 調理学実習室
	地域貢献支援事業 藍の葉を使った商品開発	藍の葉を使った商品開発の1つである「アイチョコ」は、昨年度12月から桧葉町道の駅で好評継続販売している。令和3年度 福島産業賞「奨励賞」受賞
	おむすびフェスPLUS 講師	食農教育の一環として、管内の親子60組を対象におにぎらずレシピの紹介と実演を行った。2021年11月27日(土) 会場：郡山市総合卸町市場
	福島医療学研究会 ～幸せになる糖尿病治療を目指して～	テーマ『糖尿病診療におけるスティグマ?』パネリストとして参加した。2021年12月18日(土) 会場：キョウワグループ・テルサ
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)
	うめつL S内科クリニック (福島市)	糖尿病専門クリニックにおいて、栄養カウンセラーを担当している。
	福島県立総合衛生学院	助産学科 非常勤として講師「母子と栄養」を担当した。
	ポラリス保健看護学院	非常勤講師として「栄養代謝学」を担当した。
	福島大学	食農学類において非常勤講師として「調理学」を担当した。
	内閣府 食品安全委員	食品安全モニターを担当した。
金 子 依里香	郡山市消費生活審議会委員	任期：令和2年11月1日～令和4年10月31日
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室において運営を務めた。(2021年11月20日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村あぜりあ市の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。(2021年11月3日)
	令和3年度大学連携会議	葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案についてオンライン会議で報告し、意見交換を行った。(2021年1月31日)
	復興の灯火プロジェクト	東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)
澤 渡 優 喜 海	海と日本プロジェクト「日本さばける塾 in ふくしま」	令和3年11月20日(土) 会場：郡山女子大学 日本さばけるプロジェクトinふくしま主催、日本財団 海と日本プロジェクト共催、郡山女子大学短期大学部協力で、本学で開催した親子料理教室において講師を務めた。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示紹介した。(2022年3月11日)
	第18回(令和3年度)栄養士実力認定試験問題採用(食品学各論)	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第18回(令和3年度)栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
加 藤 雅 子	う米めんレシピ開発	食物栄養学科、健康栄養学科学生と共に、アルファ電子(株)が販売しているう米めんを活用したレシピ開発を行い、料理教室参加、レシピ集作成等を通じて、米の消費拡大の一助に携わった。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室において講師を務めた。(2021年11月20日)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)
関 葵	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村あぜりあ市の運営に協力した。葛尾村で栽培した凍みもちを利用して考案した商品を調理し、来場者へ試食していただいた。(2021年11月3日)
	海と日本プロジェクト 親子料理教室 さばける塾inふくしま	「海と日本 さばける塾inふくしま」の事前の準備や当日の参加者に提供する食事の調理、片付け等を行った。(2021年11月20日)
	おむすびフェスPLUS	JA福島さくらが主催した管内の家族を対象とした親子で職能教育「おむすびフェスPLUS」にて、おにぎらず調理実演を行う小林澄枝准教授の助手を行った。(2021年11月27日)
	カップヌードルちょい足し 青春アレンジコンテスト	TUFテレビユー福島の「ちゃんろく」にて行われている「カップヌードルちょい足し 青春アレンジコンテスト」に参加したお弁当サークル「めばえ食堂」の活動を補助した。事前の買い出しや準備等を行った。(2021年10月19日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	地域貢献支援事業 藍の葉を使った商品開発	藍の葉を使った商品の開発である「アイチョコ」を作り、檜葉町の道の駅で販売している。「アイチョコ」の製造を行った。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「2022キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事についてパネルと試作品を展示し紹介した。(2022年3月11日)
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟	副代表 音楽演奏研究
	全日本音楽教育研究会	会員 音楽教育研究
	全国大学音楽教育学会	会員 幼児音楽研究
	福島県声楽協会	会員 歌唱研究
	高声会	会員 歌唱研究
	郡山女声合唱团	ヴォイストレーナー
一 柳 智 子	民族藝術学会理事	オンライン大会理事会4月17日(土)オンライン出席した。 民族藝術学会オンライン理事会5月27日(金)出席した。 民族藝術学会オンライン理事会6月5日(土)出席した。 民族藝術学会オンライン理事会11月27日(土)出席した。
	比較舞踊学会理事	比較舞踊学会オンライン理事会6月4日出席した。
	白河市文化財保護審議会委員	今年度は、都合が合わず欠席となった。
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員	7月28日委員会に出席した。審議内容は、令和元年度「学校教育」「生涯学習」「文化」「スポーツ」の4分野における教育委員会の事務内容の報告及び点検。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
小 林 徹	(委員等) 郡山市教育支援委員会委員	郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいや有する児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。
	三春町子ども・子育て支援会議委員（会長）	「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。
	福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事	肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として委嘱された。
	(研修会講師等) 令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	令和3年8月2日(月)3日(火)会場：郡山女子大学 講演「生活・教育上の特別なニーズをもつ子どもの理解と支援」ほか
	福島県私立幼稚園・認定子ども園連合会 第9回教員研修大会	令和3年8月20日(金)オンライン開催 テーマ「子どもの多様な姿から見るインクルーシブ教育の在り方」ほか
	放送大学面接授業	令和3年11月20日(土)21日(日)会場：放送大学福島学習センター 科目名「特別支援教育の実践と理論」
	福島県保育士等キャリアアップ研修	令和3年11月1日(月)19日(金)令和4年1月21日(金) オンライン開催、科目名「障害児保育」
横 溝 聡 子	郡山市立公民館運営審議会	委員長 委員会運営を行った。また、郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行い、答申をまとめた。
	郡山市青少年健全育成推進協議会	委員
	第30回東北青少年音楽コンクール宮城県北地区予選会	審査員 令和3年6月20日(日) 会場：中新田文化会館（バッハホール） 宮城県北地区予選会において審査員を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	第31回日本クラシック音楽コンクール	審査員 令和3年10月10日(日) 会場：三春交流館 まほらホール 福島本選ピアノ部門において審査員を務めた。
早 川 仁	県南美術協会	事務局総務担当として、会員・会友作品展運営。県南美術展開催の計画、準備打ち合わせ・会計監査等実施。
	本宮市民元氣いきいき応援プラザ (地域貢献活動支援事業)	子育て支援事業「いっしょに遊ぼう」通称「えぽか」の計画・学生指導の実施。 今年度VTRによる発表とした。
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	創作イメージと描画表現力を育む」講師担当。
	郡山市地方社会福祉審議会	主に市内保育支援に関する質の向上、施設認可関連の審議。
	福島県保育人材対策連絡会	主に保育人材の安定確保を図るための協議。
	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	福島県私立幼稚園・認定こども園教諭就職セミナー本学開催についての協議打ち合わせ。
草 野 葉 子	アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員	福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」に関する事業の推進。
	復興の灯火プロジェクト	東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当。
折 笠 国 康	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	「教員としての子ども観、教育観等についての省察」 講師 令和3年8月2日 郡山女子大学

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	選択必修領域Ⅰ 教育相談 Q-Uを用いた学級アセスメント～自尊感情を育てるアプローチ～ 講師 令和3年8月3日 郡山女子大学
	道光保育所	子どもと保育者が育つ職場環境－自尊感情の育成－ 令和3年12月4日 道光保育所
	福島県立光南高等学校	子どもの発達と保育に関すること 令和4年1月27日 福島県立光南高等学校
永 瀬 悦 子	福島県私立幼稚園・認定子ども園連合会主催 令和3年度教員研修会	令和3年度教員研修会の講師を務めた。 令和3年6月5日(土) ※オンラインにて実施。 テーマ「遊びや生活から育む乳幼児の健康：発育・発達との関連で」
	令和3年度教員免許状更新講習（サマーリフレッシュプログラム）	令和3年度教員免許更新講習(幼稚園教諭を対象)において講師を務めた。 令和3年8月5日(木) 場所：郡山女子大学 テーマ「安全管理と応急処置」
	矢吹町教育委員会	矢吹町子ども・子育て会議の委員（副会長）を務めた。
柴 田 卓	日本自然保育学会 子ども里山教育活動推進検討会 森と自然の育ちと学び自治体ネットワークおよび (公社)国土緑化推進機構主催 「森と自然の学びと育ちラボ2021」 小野町 自然を活かした保育活動 三春町 自然を活かした保育活動 福島県 「子どもと青年の異世代交流事業」および 「自然あそび」	特任理事 会長 調査研究協力者 講師 「おのまちわかばたんけんたい」の指導および評価（年7回） 講師 「みはるまちたんけんたい」の指導および評価（年6回） 講師 県内の保育者養成校の学生に対し、自然遊びのワークショップ等を行い、親子自然あそびイベントの企画と運営をサポートした。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	国立那須甲子青少年自然の家 教育事業 「第2回保育者・指導者のための体験会」	講師 保育者及び保育者を目指す学生を対象に自然遊びの知識とスキルの講習会を実施した。
宇 治 和 子	奈良女子大学大学院	非常勤講師。公認心理師養成科目「福祉分野に関する理論と支援の展開」を担当した。
	関東ブロック母子生活支援施設協議会	令和3年7月8日(木) 会場：オンライン 講演「これからの母子生活支援施設は利用者の主体性をどう支援するのか？～ジェンダーそしてケイパビリティという観点から」
	矢吹町教育委員会	令和3年10月29日(金) 会場：矢吹町複合施設ココット 講演「子どもの実態から見えてくる諸問題を心理学的に考える」
	郡山市要保護児童対策地域協議会	令和3年11月30日(火) 会場：郡山市役所特別会議室 講演「児童虐待防止のための地域ネットワークによる支援について」
ポール・バーナミィ Paul Vonnahme	国際交流特別講座	English Lecturer: This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker.
	Japan Association for Language Teaching (JALT)	JALT Member: JALT takes pride in its international composition and in the worldwide forum it provides to exchange ideas and techniques in language education.

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA)	Coaching & Leadership: This is a sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
安 部 高太朗	令和3年度 福島県保育士等キャリアアップ研修「幼児教育」担当講師	保育士等キャリアアップ研修の「幼児教育」分野の講師を担当し、11月25日(会津若松市アピオスペース)他、県内で複数回にわたって研修を行った。
深 谷 悠里絵	開南幼稚園 評議員会	評議員 2021年4月7日 場所：開南幼稚園 今年度の評議員顔合わせと活動について報告受け、園児の様子や保育の課題等について話し合いを行った。 評議員 2021年6月9日 場所：開南幼稚園 昨年度の活動内容と予算について報告を受け、今年度の予算について審議を行った。
何 燕 生 (福島寅太郎)	武漢大学文明対話高等研究院『文明対話論叢』編集委員 北京大学『北大仏学』編集委員 日本宗教学会 学会誌『宗教研究』編集委員 香港中文大学『人間仏教研究』編集委員 Journal of Buddhist Philosophy (SUNY Press) Editorial Board	論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	中山大学『漢語仏学評論』編集委員	論文の査読、編集と企画
	印度学宗教学会 学会誌『論集』編集委員	論文の査読、編集と企画
	印度学宗教学会 常任理事	学会の運営
	日本宗教学会評議員	学会の運営
浅 野 章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動
	福島県南美術家連盟	評議員 福島県南地区の美術普及活動
	国画会	絵画部会員 作品審査・運営業務
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。
	福島県総合美術展	招待作家
	郡山市総合美術展	招待作家
	MOA美術館郡山児童作品展	出品作品審査員 郡山市内の小学生を対象としたコンクール出品作の審査および講評。
齊 藤 弘 久	福島県水彩画会	監事・版画部会員 運営業務、会計、審査
	埼玉県版画家協会	理事・会員

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
知 野 愛	福島県教育庁県中教育事務所 地域家庭教育推進県中ブロック会議	県中ブロック会議アドバイザー・第1, 2回の地域家庭教育推進県中ブロック会議で議長を務めた。県中域内家庭教育支援者研修会にも出席した。
	公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会	評議員・郡山市観光交流振興公社の事業運営等について話し合う評議員会。書面審議による回答書を提出した。
	株式会社テレビユー福島番組審議会	審議委員・番組の質の向上を目的として課題番組の合評に参加し専門領域の立場から発言し、書面審議の場合は書面で意見を提出した。
	(一社)日本家政学会生活経営学部会北海道東北地区委員	地区委員・総会(オンライン開催)に出席し北海道東北地区の活動報告を行い、「生活経営学研究No.57」地区活動報告を提出し8月に次期委員へ引き継ぎを行った。
	こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議	会員・こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議、書面連絡した。
	郡山市男女共同参画審議会	委員・第三次こおりやま男女共同参画プラン推進施策実施状況及び実施計画について書面審議による回答書を提出した。
	放送大学面接授業	講師・令和3年6月5日(土)6日(日)、放送大学福島学習センター 科目名「子育て家庭支援論」
桑 野 聡	福島放送番組審議会	2021年9月まで9年間、委員長・審議委員として福島放送(KFB)自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援してきた。
	放送大学面接授業	1学期面接授業として「ヨーロッパの歴史学と「中世」」の講師を担当。 (2021年6月19・20日)
會 田 容 弘	和台遺跡保存活用計画策定委員会	委員 国指定史跡和台遺跡の保存活用にあたって考古学の専門的立場から、保存活用に対する意見を具申する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
小 松 太 志	第32回日本基礎造形学会東北大会 実行委員会	委員 大会の運営（主に作品発表の進行に関わる業務）を担当した。
	いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』チャレンジ・アワード 審査委員会	委員 環境省主催の中学生、高校生、大学生等を対象とした作文コンクール の審査を担当した。
	棚倉町ブランド認証審査委員会	委員 棚倉町におけるブランド品の審査・認証を担当した。
	復興の灯火プロジェクト	事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクト の企画・運営を担当した。
山 口 猛	福島県教育委員会 福島県生徒指導アドバイザー	情報モラルの観点から、後援会や研修会等への支援を行った。
		7月8日 矢吹町いじめ問題対策協議会専門部会 講演
		7月14日 湖南小中学校前期課程教員向け 講演
		7月15日 湖南小中学校後期課程生徒向け 講演
		7月16日 岩瀬農業高校 講演
		7月28日 福島県公立学校長研修会地区別研修会（県南地区）講演
		10月25日 湖南小中学校前期課程児童向け 講演
		11月16日 湖南小中学校後期課程教員向け 講演
黒 沼 令	福島県美術家連盟評議委員	福島県美術家連盟の運営業務を行った。
	福島県総合美術展覧会運営委員	第75回福島県総合美術展の運営委員として展覧会の運営や出品者研修会 の講師を務めた。
	岩手県高等学校文化連盟	楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）、トロフィ（功労賞、連盟賞）の原 型制作を行った。
	福島県シルバー美術展審査員	福島県社会福祉協議会主催の第30回福島県シルバー美術展の審査委員を 務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	田村地区小学校図画工作部会講師	令和３年度田村地区小画工教育研究協議会図画工作部会において、「立体制作における造形感覚」というテーマの講義、実技指導を担当した。
佐 藤 愛 未	放送大学 面接授業	2学期面接授業として「江戸時代のふくしまと地域史」の講師を担当。 (2021年11月20・21日)
和 知 剛	郡山市図書館 図書館協議会 委員	図書館協議会は、図書館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる。